

千葉県立博物館の事業に係る有識者意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28)	下段:目標値(H28)]	値の説明				数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	資料の情報化・公開実績	28年度実績	16496点	4	A	下段は前年度実績
					前年度実績	16247点			
			2	博物館資料の受入等	平成28年度実績	36236件	4		
					前年度実績	21142件			
			3						
									4
		前年度実績	35件						
		5	館内利用(学術調査等)	28年度実績	101件	4			
				前年度実績	30件				
		6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	28年度実績	57件	4			
				前年度実績	53件				
		調査研究		7	調査事業件数	件数	28年度実績	111件	4
館の計画	94件								
8	共同調査事業件数			件数	28年度実績	20件	4		
		前年度実績	14件						
9	研究成果の公開状況	論文研究報告	28年度実績	100件	3				
			前年度実績	116件					
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	館内利用の値は、館内で実施した展示に利用した件数と、基金で購入した資料の研究利用の実績値のみを含む。資料のデジタル化数(情報システムへの登録数)は前年度を大きく上回った。本年度も引き続き登録に努める。								
有識者コメント	公開実績や資料のデジタル化の増加は評価できる。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	28年度実績	166,596人	4	A	
						前年度実績	143,975人			
			2	企画展「驚異の深海生物」	入館者数	28年度実績	38,060人	4		
						前年度実績	29,566人			
			3	季節展・トピックス展	入館者数	28年度実績	55,633人	4		
						前年度実績	49,385人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	28年度実績	28回	4		
						前年度実績	21回			
			5	企画展「驚異の深海生物」	実施回数	28年度実績	1回	4		
						前年度実績	1回			
			6	トピックス展等	実施回数	28年度実績	18回	3		
						前年度実績	20回			
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	〇〇年度実績		4				
				28年度実績	91%					
	8	企画展「驚異の深海生物ー新たなる深世界へー」	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	〇〇年度実績						
9	トピックス展等	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	〇〇年度実績							
大項目IIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	入館者数は上向きである。今後とも魅力的企画展・季節展の企画あるいは話題性のあるトピックス展などにより、入館者数が増加するよう努める。									
有識者コメント	深海展は、PRが良かった。新聞などにもよく取り上げられていた。チラシ配りも効果があったと聞いている。また、「驚異の深海生物」といったネーミングもよかった。									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	28年度実績	85.92%	3	A	
						前年度実績	95.65%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	28年度実績	27件	4		
						前年度実績	22件			
大項目IIIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	入場料収入の達成率の低下が10%程度見られた。企画展入館者は増加していることを考慮すると、企画展開催時以外の機関での季節展・トピックス展等における企画を工夫したい。科学研究費などの外部資金の獲得件数は増加しており、今後とも積極的に外部資金を活用してゆく。									
有識者コメント	有料入館者が増えてほしいところである。 有料入館者数の増加を目指すには、親子連れに来てほしいと考える。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]		値の説明	数値			
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	28年度実績	2091回	4	A
						前年度実績	1791回		
			2	HPでの利用状況	アクセス数	28年度実績	320843件	4	
						前年度実績	284449件		
			3	報道機関への情報発信	取材件数	28年度実績	141件	4	
						前年度実績	128件		
大項目IVの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	HPの情報提供は、前年度に対し116%と増加し、アクセス数も112%と増加している。情報の提供が、アクセス数の増加につながっていると考えられる。また、デジタル情報以外にも、報道機関等への積極的な情報提供を行っており、取材件数は昨年同様増加傾向にある。								
有識者コメント	教員の9割以上が、博物館へ行く前にネットで確認している。ホームページの更新がとても大事なので、更新数増加はとてもよい。ページビューの解析をし、どのページに人気があるかをマーケティングするとよい。評価票に、外部資金の導入で広報を行ったことが分かる項目があるとよい。								
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	28年度実績	87校	2	A
						前年度実績	120校		
			2	入館者数	28年度実績	6995人	4		
					前年度実績	6312人			
			3	生徒・児童	入館者数	28年度実績	6995人	4	
		前年度実績				6312人			
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	28年度実績	49校	4		
					前年度実績	22校			
		5	利用者数	28年度実績	2657人	4			
				前年度実績	1,005人				
地域関係団体との連携	6	団体数	28年度実績	132団体	4				
			前年度実績	35団体					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	28年度実績	132回	4			
				前年度実績	80回				
	8	利用者数	28年度実績	10370人	4				
前年度実績			4046人						
9	友の会活動	利用人数	28年度実績	1211人	4				
			前年度実績	908人					
10	ボランティア活動	活動延人数	28年度実績	136人	3				
			前年度実績	148人					
大項目Vの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	来校数がやや減少しているものの、概ね利用者数は増加傾向にある。また、出前講座の要望が大幅に増加している。今後とも、校長会等に出向きPR活動を展開するほか、博物館近隣校に対し重点的に行事予定やチラシを配布する活動を継続し、学校団体利用促進を図ってゆく。								
有識者コメント	評価票の数値の取り扱いに注意すること。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]		値の説明	数値				
VI	教育・普及活動	来館状況	1	ミュージアムトーク	参加者数	28年度実績	2572人	4	A	
						昨年度実績	2280人			
			2	講座	講座観察会(館主催)	参加者数	28年度実績	1254人		4
							昨年度実績	1034人		
			3		展示関連行事	参加者数	28年度実績	1582人		1
							昨年度実績	4431人		
			4		体験イベント	参加者数	28年度実績	1640人		2
							昨年度実績	2333人		
		5	体験教室	中調・森調	参加者数	28年度実績	658人	3	B	
						昨年度実績	724人			
		6								
		7	自然誌フェスタ		参加者数	28年度実績	674人	1	D	
						昨年度実績	1959人			
		8	山FM行事(注:館外)		参加者数	28年度実績	273人	1		
						昨年度実績	594人			
		9		〇〇〇〇		〇〇年度実績				総合的な満足度
		10	講座	〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績				
11		〇〇〇〇		〇〇年度実績						
12		〇〇〇〇		〇〇年度実績						
13	体験教室	〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績						
14		〇〇〇〇		〇〇年度実績						
15		〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績						
16		〇〇〇〇		〇〇年度実績						
17	相談件数(来館、メール、電話等)		利用件数	28年度実績	182件	4	A			
				前年度実績	130件					
大項目VIの総合評価(A~D)							C			
博物館コメント	昨年度に比べ、定番の講座観察会やミュージアムトークは堅調な伸びを示したのに対し、企画展関連行事については開催日数が少なかったこと、体験イベントの開催回数が少なかったことから、参加者が減少した。開催回数を増やすことはベースとしても、集客力のある効果的な体験イベントの企画に努めたい。なお山FM行事については天候なども影響している。									
有識者コメント	イベント参加人数は、天候によって左右するなどがあるため、その増減の理由はイベントごとに考察する必要がある。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]		値の説明				数値	
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習		28年度実績	29人	4	A	
						昨年度実績	21人			
			2	教員等の研修		28年度実績	1,157人	4		
						昨年度実績	1056人			
			3	職場体験		28年度実績	74人	4		
						昨年度実績	69人			
			4	インターンシップ		28年度実績	16人	2		
						昨年度実績	21人			
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数		28年度実績	1回		4
					館の計画		1回			
			6	防災訓練実施等	実施回数		28年度実績	1回		4
					館の計画		1回			
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A				
博物館コメント	人材育成の対象者は、おおむね増加している。特に、博物館実習、教員研修、職場体験等では申し込みが多い。									
有識者コメント	博物館実習やインターン生の受け入れについては、前年度受け入れ数と比較するのではなく、適切な目標数値を設定し、その値との比較をするのが妥当である。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)		値の説明			
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	28年度実績	15団体	4	A
					前年度実績	15団体		
			2		28年度実績	600人	3	
					前年度実績	652人		
			3	外国人来館入込	28年度実績			
					前年度実績			
			4		28年度実績	239人	4	
					前年度実績	103人		
大項目Ⅷの総合評価(A~D)							A	
博物館コメント	県外来館者数は横ばいである。外国人来館者数は増加している。今後、2020オリンピック・パラリンピックの開催なども踏まえ、表示等における外国人対応は進めてゆきたい。							
有識者コメント	外国人来館者の把握は急務だが、どの博物館も苦慮している様子である。のちに大事なデータになるので、なんとかデータを取るよう工夫してほしい。							
総合評価(A~D) [各達成度の平均]							A	
総合評価と次年度への対策	講座等の類別によって、参加者数の減少などはみられるものの、各項目は前年度実績を上回るものが多く、入館者数も増加している。前年度実績に比較して、企画展開催中の入館者数は30%、季節展等の開催期間中の入館者数は10%増加している。概ね、好調である。							

【博物館評価に係る有識者意見】

評価項目全体に係る意見	中央博物館は、ここ5~6年で大きく変わってきている印象である。特に、効果的な広報が実践できており、いろいろなメディアで館の名前を見かけるようになった。また、以前からお願いしてきた、展覧会やイベントの名称にも工夫がみられるようになった。自己評価が厳しすぎるくらいに感じられた。
-------------	---

【博物館記入】

意見への対応	今後とも、展示のネーミングも含めひきつづき効果的な情報発信を行ってゆくとともに、展示やイベントの内容も工夫してゆく。また、評価票における評価方法、特に基準とする目標値の設定を検討する。
--------	--